



佐藤 美紀子さん

Satou Mikiko

〔浅井区〕

さとう・みきこ / 甲佐町男女共同参画推進懇話会長。「男女がともに自立し、支えあう住みよいまち」を目指し、男女共同参画社会の実現を推進。

自分と相手を共に大事に思う 気持ちで男女共同参画の基本

「みんなが仲良く共に自立して支え合うためには、『人権意識』が基本。自分の人権、パートナーの人権、親の人権、子どもの人権、周りの人たちの人権、自分を大事に思う気持ちと共に、周りを思いやる気持ちで、男女

共同参画には必要」と話すのは、甲佐町男女共同参画推進懇話会長を務める佐藤美紀子さん。同会は、企業や団体、個人など、さまざまな立場から男女共同参画社会の実現を目指す9人の委員で構成され、平成22年度

には「町男女共同参画計画」策定に携わる。「男女共同参画で一番大切なのは意識の啓発」と考え、現在は、男女共同参画をテーマにした寸劇にも取り組む。「今は1人世帯とか、『老老介護』が当たり前。自分が自立することは、自分のためにもなる」と佐藤さん。男だから家事や介護をしないという時代は、遠の昔。「女性がお茶を入れて当然という雰囲気、以前は

あった。でも今の時代、女性がお茶を入れるのを待ってるといふのはおかしいですよ」と苦言。「だからと言って、お茶を入れるなという訳ではなくて、自分が入れるついでに、『どうぞ』というのは全然構わない。そして、入れてもらったら『ありがとう』でいい」と、お互いに相手への思いやりの気持ちを示すことが共同の基本と考える。「難しく考えなくても、今までの固定観念から、ちょっと視点を変えるだけでいい」と男女共同参画のポイントをアドバイス。活動をして良かったことは、「男女共同参画を通して、自身がいっていることに気付き考えさせられること」と佐藤さん。「懇話会は、何でも自分の思いを出せる場。関心や興味のある方は、ぜひ顔を出してもらいたい」とこりこり。今後は、「寸劇も、要望に答えながらテーマを考えて、さらに取り組みたい」と佐藤さん。「6月23日から29日は、男女共同参画週間。それに関連して、町役場で展示を行っているのでぜひ見に来てほしい」と明るい未来を描く。

広報 こうき

2012年（平成24年）6月号
通巻515号